

気象講演会

身近な風を知る — 突風とヤマセー

昨年7月、弘前市では竜巻が発生し大きな被害を受けました。
また、東北地方に吹くヤマセは稲作にしばしば大きな影響を与えてきました。
風はわれわれの日常生活に深く関わっています。
本講演会では、突風とヤマセについて最新の研究成果をご紹介します。
多数のご来場をお待ちしております。

講師及び演題

「突風研究の最前線」

講師：楠 研一 氏

(気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部 第四研究室長)

※ この画像はイメージです。

「ヤマセの観測」

講師：児玉 安正 氏

(弘前大学 大学院理工学研究科 寒地気象実験室長)



気球を用いたヤマセの観測

日時

平成25年

10月20日(日) 13:00~15:30(開場12:30)

場所

弘前大学創立50周年記念会館 「みちのくホール」
〒036-8560 弘前市文京町1番地

入場
無料

主催：日本気象学会東北支部 共催：青森地方気象台
後援：青森県、弘前市、弘前大学大学院理工学研究科、FMアップルウェーブ
問合せ先：青森地方気象台 / TEL 017-741-7413

講演の概要

「突風研究の最前線」



気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部
第四研究室長

くすのき けんいち

楠 研一氏

気象庁気象研究所では、安全・安心な社会のための最新の気象観測システムの開発・評価などを行うと共に、それらを用いたさまざまな大気現象の観測・探知の研究を行っています。

時として大きな災害をもたらす竜巻などの突風について、その実態や発生原因を解りやすく説明するとともに、気象研究所で行われている研究の最前線を紹介します。

「ヤマセの観測」



弘前大学 大学院理工学研究科 寒地気象実験室長

こだま やすまさ

児玉 安正氏

ヤマセは、冷害をもたらす風として恐れられてきました。一方、風力発電の盛んな青森県では、ヤマセは夏季のエネルギー資源としても重要です。私どもは、ヤマセを対象に青森県内で気球を用いた高層気象観測を実施してきました。2009年より行っている観測の風景と結果、並びに数値モデル実験で明らかになった青森県内のヤマセの立体的な振る舞いについて紹介したいと思います。

地図



交通案内

JR弘前駅から

- ・徒歩の場合 約20分
- ・バスを利用する場合 約15分
駅前から「狼森(おいのもり)行」「自衛隊行」「学園町行」「小栗山行」に乗車、「弘前大学前」又は「弘大農学生命科学部前」下車。
- ・タクシーを利用する場合 約5分

弘南鉄道

- ・弘高下駅で下車し、徒歩の場合 約5分
- ・弘前学院大前駅で下車し、徒歩の場合 約7分